

市長メッセージ ～手術及び入院加療の報告とお願い～

市民の皆様には、日頃より、互いに暮らしやすい地域づくりにご尽力をいただいておりますこと、感謝と敬意を表します。

私事で恐縮ですが、この度、定期的に受けている検診で、肺に小さな影が見つかり、ごく初期のがんの疑い（がんである場合はステージ1a第1期との診断）があることが分かりました。

このため、10月20日の午後（長野県総合防災訓練終了後）から約1週間の入院（手術は根治を目的としたもので10月21日の予定）、退院後は、自宅で療養し11月5日（火）には公務に復帰する予定です。

なお、体調に問題はなく、加療中も職員等と連絡を密にし、適時適切に判断・指示ができる体制をとりますので、市政運営ならびに市民サービスに支障を来すことはありませんのでご了承ください。

私自身、自分の身に起きたことに大変驚くのと同時に、生涯を通じて男性の二人に一人、女性の三人に一人ががんにかかると言われていますが、このことは誰にでも起こり得るということを実感しました。また、定期的な検診が早期発見につながり、大事に至らなかったということを経験し、検診を受けることの大切さをあらためて強く感じたところです。

市民の皆様におかれましても、ご自身はもとより、大切なご家族のためにも、定期的な検診の受診に心がけていただきますようお願いいたします。

この度を経験により、現在がんの治療をされている方、がんを経験して社会生活を送っている方、患者を支えるご家族や周囲の方々に思いを馳せる機会をいただいたとも感じております。そして、様々な状況を抱えて生活している一人ひとりが、お互いを思い合いながら共に生きていく温かい地域社会づくりに活かすよう、思いを新たにしたいところでございます。

令和6年10月15日

小諸市長 小 泉 俊 博